



市議 かけの 掛布まち子

## いじめ根絶へ真剣な取り組みを

滋賀県大津市の中学生いじめ自殺事件を契機に、あらためて、いじめ克服への真剣な対応が求められています。市内小中学校における「いじめ」の実態把握、対処、取り組みを質しました。

### 子どもは大人社会を写す鏡

今、自己責任と成果主義で分断する格差社会がつくられ、働く人の35%余が先の見えな不安定な非正規労働を強いられ、大人社会が疲弊しています。

加えて日本の教育は、国連から再三にわたり、過度の競争教育の弊害を指摘され是正を勧告されているにもかかわらず、ひどくなるばかり。新学習指導要領の全面实施でますます余裕のない学校となり、つめこみ教育が子どもたちを追い込んでいます。

子どもたちのむかつき、不安が、攻撃対



象を見つけることで解消する・・・これが「いじめ」の一面ではないでしょうか。

### いじめ解決には教職員の多忙解消が不可欠

教職員が過労死ライン超えの残業を強いられています。精神的にも時間的にも余裕のない状態で、繊細な子どもの気もちの動き、SOSのシグナルがキャッチできるのでしょうか。

いじめを的確に把握し、子どもたち、教職員集団、保護者もいっしょに、いじめ解決に丁寧に取り組むためには、教職員の多忙解消が不可欠です。6月議会以降の取り組みを質しました。

教育長等は「2011年度の市内小中学校において28件のいじめを把握した。いじめられている子のサインを見逃さない、担任のほか心の相談員なども活用した相談活動、各学校でのアンケート実施により、いじめの把握に努めている」「お互いに学び合う学級づくり、わかる授業の創造など予防的な取り組みをすすめる」「教員の超過勤務時間の削減は重要。定期的にノー残業デーの設置など、学校と協議していきたい」と答弁しました。

他に巡回バス、磁気ループやFM補聴システムなどを用いた高齢者への聴こえ支援、新ごみ処理施設問題についても質問しました。

## 消費税増税を実施させない国会を

民主、自民、公明の「3党談合」により、消費税増税法案の成立が強行されました。

夫（サラリーマン）、妻と2人の小学生を扶養している年収500万円の家庭、昨年からの年少扶養控除が廃止され所得税と住民税合わせて124,000円もの負担増になっています。この上消費税増税が実施されると新たに314,000円と大変な負担が押しつけられます。また、多くの中小業者からは、今でも「自腹」をきっているのに10%になれば経営そのものが成り立たなくなると悲痛な声が上がっています。

また、市として平成27年10月から消費税が引き上げられた場合増収見込み額は3億円ほどですが、ほぼ同額の支出増となり市の新たな財源にはなりません。

消費税増税は経済を冷え込ませ「国の財政」を一層悪化させることは明らかです。財源確保の1つとして、大企業、高額所得者、大資産家に応分の負担を求めることこ



そ必要です。そして合わせて国民の所得を増やす経済政策を実現しなければなりません。増税法案の実施までに衆参2回の国政選挙が行われます。増税を実施させない国会をつくることを主張しました。

## 太陽光発電設置の促進を

太陽光発電設置にも利用できる「勤労者くらし資金融資制度」の限度額拡大を求め、「来年度200万円に拡大する予定」との答弁でした。

また、東京・世田谷区での、区の公社を通じた太陽光パネルのまとめ買いによる価格の抑制、国の補助金申請事務のサポート、金融機関の低利融資の斡旋等の事業を紹介。この事業は区の持ち出しは「ゼロ」、区民が負担する費用も安く済むことから補助金の活用や電気料金の軽減などで、10年後には「元が取れる」とのこと。

そのほか滋賀県湖南市が主体性を発揮して取り組んでいる事業などに学び太陽光発電の促進に力を発揮するよう要求。「調査研究していく」との答弁でした。

その他、市の地籍調査の実情と方針を質問しました。



市議 東 よしき



市議 森 ケイ子

## 天井や照明器具の落下、家具の転倒防止対策を

南海トラフ地震や岐阜県が実施した敦賀原発事故の被害想定が相次いで発表され、防災計画の見直しが迫られています。

見直しにあたっては、原発事故対策を盛り込むこと。防災会議や防災対策本部に女性の委員を増やすことを求めました。

小中学校の天井や照明器具の落下防止対策を急ぐこと、家庭での家具の転倒防止対策に補助制度を実施すること。防災無線が聞き取りにくいとの声が寄せられている。緊急放送の後、繰り返して肉声により再放送を行うことを要望しました。

小中学校の天井等の落下防止対策は、「現在点検作業を進めており、必要な箇所については、早期に耐震性が確保できるよう努め」家具の転倒防止に対する補助制度は「どのような内容がふさわしいか検討する」



との答弁がありました。

## 公民館にインターネット回線を

「学供や公民館でパソコンクラブを行っているがインターネット回線をつないでほしい」「布袋ふれあい会館の競技場の冷房装置使用を認めてほしい」などの要望について取り上げました。

インターネット回線については、「要望が多くあれば検討する」冷房については、「スポーツが終わった時などに、職員に声をかけてもらえば更衣室やシャワー室の冷房を入れるようにしている」との答弁でした。

冷房は、利用者の責任で使用できるよう重ねて要望しました。

## 宮田地域の浸水対策を

今年河野町地域で、新般若用水路から大江排水路に切り替える為の工事が行われ、流量が大幅に増えることとなります。この工事に合わせ、毎回浸水被害を起こす宮田排水路の改修計画を立て、浸水被害の防止対策をすすめるよう主張しました。

「大江排水路への切り替え後の効果を確認したうえで、宮田排水路の改修の必要性や方法を検討する」との答弁でした。

他に児童館活動と学童保育について、質問しました。